

輪島塗の若手人材の養成施設の整備等に関する 基本構想実行委員会

石川 県

- 1 令和7年度の輪島塗「漆芸の聖地」プロジェクトの実施状況**
- 2 輪島塗事業者等の検討会の検討状況**
- 3 令和8年度の輪島塗「漆芸の聖地」プロジェクトの取組の方向性**
- 4 今後の輪島塗「漆芸の聖地」プロジェクトのスケジュール**

令和7年度の輪島塗「漆芸の聖地」プロジェクトの実施状況

養成施設の整備（県・輪島市）

- 建設予定地の土地の測量等（測量、地質調査）が概ね完了。 建物の基本設計に着手

魅力発信

- 2月1日、輪島市において、「輪島塗復興フォーラム」を開催 ▶ 輪島塗関係者等 約80名参加
内容：人間国宝の小森邦衛氏による基調講演、輪島塗関係者等によるパネルディスカッション
- 2月15日、金沢市において、「輪島塗復興フォーラム」を開催 ▶ 輪島塗関係者等 約160名参加
内容：人間国宝の山岸一男氏による基調講演、経産省菊川局長、文化庁松坂審議官、輪島塗関係者等によるパネルディスカッション、輪島塗伝統工芸士による実演、製作体験、輪島塗の展示販売
- 地元児童に向けた輪島塗の制作体験（沈金）を実施 ▶ 児童生徒 約60名参加
2月21日：輪島漆芸技術研修所、2月28日：輪島塗会館、3月1日：輪島漆芸美術館



海外販路開拓

- 10月17日、輪島市において、海外展開セミナー①を開催 ▶ 輪島塗関係者等 約70名参加
テーマ：輪島塗の海外展開に向けて
講師：大阪関西万博イタリア館 文化教育サイエンス担当、ミラノ大学准教授 ロッセツラ・メネガッツォ氏
- 3月25日、輪島市において、海外展開セミナー②を開催 ▶ 輪島塗関係者等 約50名参加
テーマ：伝統を重荷ととるか、機ととるか。継ぐ技活かし、明日を育む
講師：LVMHメティエダール ジャパンディレクター 盛岡笑奈氏



輪島塗事業者等の検討会での「養成施設の整備」に関する主な意見

<養成施設のカリキュラム>

- ・ 検討会のメンバーから養成施設の**人材育成の考え方が提案された**。この考え方をもとに、**今後**、作り手と相談しながら、**具体的カリキュラムの項目と時間割(専門科目、共通科目等)や講師の人物像**について、**検討を進めていきたい**。
- ・ **全国にあるモノづくり(若しくは、工芸)の人材養成施設の中で**、若者が生きがいを施設で学んでいたり、産地の次の担い手として生き生きと活躍している事例や、人材養成施設がうまく独立採算で回っている事例など、**先進事例を訪問して、調査を行い、養成施設のカリキュラムや運営に反映していきたい**。

<養成施設の仕様>

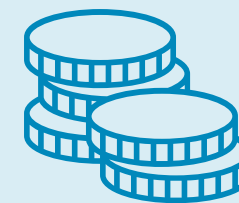
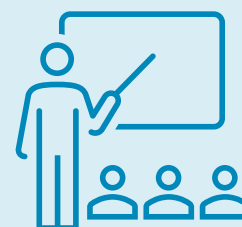
- ・ **作業場は受講生の数に応じて可変できるイメージ**。例えば、加飾1人、下地4人なら下地スペースを多く取りたい。
- ・ 研修所でもそこが悩み。**生徒の専門科目に応じて、自由に動かせるとよい**。基本設計に反映させていきたい。

<養成施設の運営>

- ・ **運営法人の立ち上げは**、いろいろな準備を早く進めるために、**なるべく早めにしていただければありがたい**。
- ・ **養成施設の運営資金について**、輪島塗の復興を応援してくれる**民間企業等に資金支援を募る準備を進める必要がある**。

R 8年度の取組の方向性

- **カリキュラムの作成、講師の人物像の検討**
- **養成施設の全国の先進事例の調査**
- **運営資金の調達・検討**



輪島塗事業者等の検討会での「魅力発信（産業観光）」に関する主な意見

<漆芸の聖地を目指すには>

- ・ 輪島塗業界だけではなく、朝市やキリコ会館等の観光施設と連携したイベントのような人を呼び込む取組も進めてはどうか。
- ・ 日本全国に面白い漆の産地がいっぱいある。輪島に来れば日本全国の漆器が見られるということのを売りに「漆サミット」を実施したらどうか。たくさんの人に参加してもらうことで、「漆芸の聖地」につながる。

<今後の魅力発信の取り組み>

- ・ 公費解体が進み、復興を応援したい人が、県内外から、たくさん輪島に来ている。輪島で、制作体験をしたり、食と絡めて、輪島塗の器を使って食べてもらう体験・機会を提供して、若者への種まきをする取り組みが必要。
- ・ インターンシップをすればいい。実際に作っている職人と子供や外部の人が交流してざっくばらんに話すことが重要。
- ・ 「輪島に行ってみたい」と輪島を目指す人を集める取り組みが大事。県内の児童だけでなく、県外の若者や家族連れも参加できる輪島塗の魅力体験できるイベントを輪島で開催したり、インターンシップ等で、事前に若者を掴む取り組みが大事。
- ・ 加賀料理とコラボして、富裕層向けに、輪島塗と加賀料理の体験ツアーは面白い。
- ・ 若者、子供連れの家族、富裕層、それぞれターゲット毎に、体験プログラムを用意することで、より効果的に魅力発信できる。

R 8 年度の取組の方向性

- 輪島塗の作り手を目指す若者を対象に、輪島塗のインターンシップ
- 子供連れ家族を対象に、輪島塗の魅力体験ツアー（製作体験、輪島塗の器で地元食材を味わう体験）
- 富裕層を対象に、漆芸の人間国宝を招いて、輪島塗と加賀料理を堪能する食談義 等

輪島塗事業者等の検討会での「市場開拓（海外販路）」に関する主な意見

<輪島塗の海外販路開拓>

- ・ 輪島塗の海外販路開拓は、本来、塗師屋がすべきものだが、これからは作り手も海外のことを理解して、塗師屋や他の作り手と連携できる作り手を育てていなければならない。

<今後の海外販路開拓に向けた取り組み>

- ・ 勉強会だけでなく、今後は、**海外の市場調査や現地キーマンとのネットワークを作る取り組みも大事**。令和8年度からは、海外の見本市やアートフェアなど**市場調査**に行ったり、**現地のキーパーソンとネットワークを築いたり、ステップを踏んでいくべき**。
- ・ 歴史があり、伝統工芸や文化に造詣が深く、また富裕層も多い、**ヨーロッパ市場をターゲットにすべき**。
- ・ このプロジェクトの検討会では、**輪島塗の海外販路開拓に向けて、作り手を中心とした取組を検討し、海外のアートフェアの出展可能性を探る**。一方、輪島市の世界ブランド化推進事業では、塗師屋が中心となって、海外でのプロダクト系の見本市を探っている。この**二つの取り組みが両輪となって、輪島塗の海外展開を進める必要がある**。
- ・ 輸出のノウハウを持っていない輪島塗の事業者も多くいるので、**実務に関する勉強会も必要**。
- ・ 国内外のアートフェアに出品されている**日本のアートギャラリーのオーナーを招いて、話を聞いてみたら良いのではないか**。

R 8年度取組の方向性

- **海外での市場調査、現地キーパーソンとのネットワークづくり**
→ 輪島塗や漆の展示実績があるイギリスロンドンで、ヨーロッパ有数のアートフェア「コレクト」「ジャパンハウス」「V&A博物館」とその関係者等を調査先として想定
- **海外展開に向けた勉強会**
→ アートギャラリーのオーナーや工芸の輸出に向けた実務の専門家を講師として想定
- **海外の工芸家との交流・共同制作（アーティストインレジデンス）の検討**

令和8年度の輪島塗「漆芸の聖地」プロジェクトの取組の方向性

養成施設の整備（後継者確保）

● 建設工事に係る基本設計

施設の建設に向けた基本設計

● 土地造成に向けた土地の取得交渉

建設予定地の地権者との交渉

8年度	基本設計等
9年度	実施設計・土地造成（予定）
10年度～	建設工事（予定） 開校（予定）



輪島塗の魅力発信

● 輪島塗のインターンシップ・魅力体験ツアー

- ・ 輪島塗の作り手を目指す若者に、塗師屋や工房での輪島塗の作り手から指導を受ける就業体験
- ・ 子供や家族連れには、輪島塗の製作体験や輪島塗の器を使って食べてもらう体験ツアー
- ・ 輪島塗に関心のある富裕層に、人間国宝を招いて、輪島塗と加賀料理を堪能する食談義 等
- ・ 県内外から幅広く参加者を募り、輪島塗の魅力を発信

輪島塗の海外市場開拓

● 海外での市場調査、キーパーソンとのネットワークづくり

- ・ 海外に販路がある現地のキーマンをしっかりと捕まえて、海外で何が評価されているのか、海外で市場調査を行い、現地キーマンとネットワークを構築する取り組み
- ・ 国内外のアートフェアに出品しているギャラリーオーナーや工芸品の海外への輸出に向けた実務やノウハウに関する専門家を招いて、輪島塗の海外展開に向けた勉強会
- ・ 海外の工芸家との交流・共同制作（アーティストインレジデンス）の検討